

下市町 地震ハザードマップ

周辺の地震 ～大地震は、いつどこで起きてもおかしくありません!～

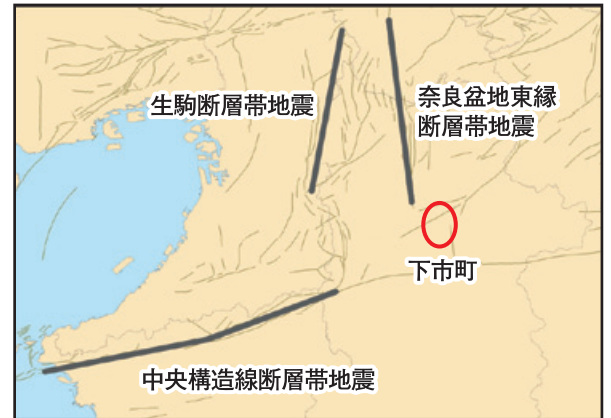
近年、各地で洪水や地震などの自然災害が多発しており、下市町においても、同様の地震が発生する可能性があります。阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の約9割が、住宅の倒壊や家具の下敷きなどによる圧迫死や窒息死であったとされています。住まいの耐震化など、身近な地震対策からはじめましょう。

● 周辺で起こりうる主な地震

周辺の地震	マグニチュード	地震発生確率*
中央構造線断層帯地震	8.0	ほぼ0%～5%
奈良盆地東縁断層帯地震	7.4	ほぼ0%～5%
生駒断層帯地震	7.0～7.5	ほぼ0%～0.1%
東南海・南海地震(同時発生)	8.5	60%～70%

※地震発生確率は、今後30年以内に発生する確率です。

出典:地震調査研究推進本部の公表値(評価時点:平成22年1月1日)



震度とマグニチュード

地震のエネルギーの大きさをマグニチュード、地面が揺れる大きさを震度と呼びます。マグニチュードが大きい地震でも、震源が遠い場合や深い場合は、震度が小さくなります。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍にもなります。

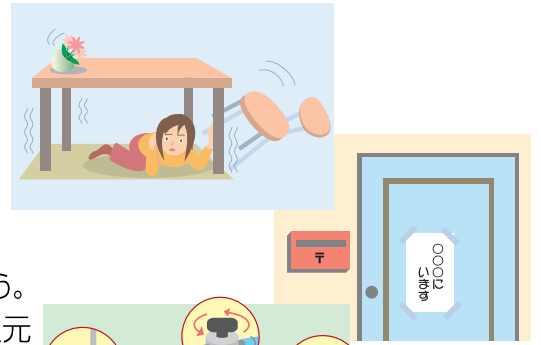
震度と想定される被害 ～震度による人や建物、家具などへの影響～

震度	被害
4	ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5強	物につかまらなると歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
7	耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

地震発生時の行動 ～身の安全を確保し、落ち着いて避難しましょう!～

身の安全確保、火元確認

- ◆地震が起こったら、まず、落ち着いて、身の安全を確保しましょう。
- ◆揺れがおさまったら、出火がないか確認し、出口を確保しましょう。
- ◆火が出た場合は、すばやく、初期消火を行いましょう。



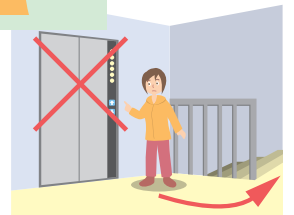
安否確認、避難準備

- ◆家族や高齢者、乳幼児、障害のある方など、周囲の安否確認を行いましょう。
- ◆避難をする前に、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉じるなど、火元を確認しましょう。
- ◆避難する際は、玄関に避難先や安否情報を記したメモを貼りましょう。



避難

- ◆慌てて外に飛び出さず、足元に注意し、落ち着いて避難しましょう。
- ◆長袖、長ズボンなどの安全な服装で、建物のそばや細い路地を避け、徒歩で避難しましょう。
- ◆避難時はエレベーターを利用せず、階段から避難しましょう。



緊急地震速報について

「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、震源の位置、規模、想定される揺れの強さを、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、テレビやラジオなどで素早くお知らせするものです。（※震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強いゆれに間に合わないことがあります。）

重要 「緊急地震速報」を見聞きした際、適切な行動ができるよう事前に訓練しておきましょう!

緊急地震速報

➔

危険回避!

非常時持ち出し品 ～必要最小限のものを、常備しておきましょう!～

定期的に非常用持ち出し品をチェックしておきましょう。

チェック	項目	説明
	携帯ラジオ	FM付きがよい 予備電池など
	照明器具	懐中電灯、予備電池、ローソク、ライター、マッチなど
	飲料水・非常食	飲料水、乾パン、缶詰、ビスケット、チョコレートなど3日分を備蓄しておく
	道具類	缶切り、栓抜き、ナイフ、割り箸、ロープ、ビニールシートなど
	救急・衛生用品	消毒液、傷ぐすり、ばんそうこう、石けん、生理用品、包帯など
	現金・貴重品	現金、通帳、印鑑、保険証、免許証など
	衣類	下着、セーター、ジャンパー、軍手、雨ガッパなど

地震に備えてわが家の耐震化を ～耐震化の助成があります!～

下市町既存木造住宅耐震診断助成事業

下市町では、大規模地震に備えた安全なまちづくりの第1歩として、既存木造住宅の所有者からの申請を受けて、奈良県に登録されている木造住宅耐震診断員に依頼して耐震診断を実施します。

助成対象となる 木造住宅

- 昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組工法の木造住宅で、延べ面積が250m² (約75坪) 以下でかつ地階を除く階数が2以下の住宅。
- 長屋及び共同住宅も含まれます。ただし、店舗等の併用住宅の場合は店舗等に供する床面積が延べ床面積の1/2未満の建物。

下市町役場建設産業課 電話 0747-52-0001

下市町耐震改修工事補助事業

助成対象となる 木造住宅

- 耐震診断事業の要件を満たした町内の住宅で、耐震診断を行った住宅の耐震改修工事。
- 工事前の構造評点1.0未満のものを1.0以上の数値にする改修工事または、工事前の構造評点0.7未満を0.7以上にする改修工事。
- 町税の滞納がないこと。
- 詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

下市町役場建設産業課 電話 0747-52-0001

耐震改修に関する融資制度

リフォーム融資 (耐震改修工事)

- 一定の基準による耐震改修工事に対して融資を受けることができます。
- 満60歳以上の方は、本人死亡時に一括返済できる融資などがあります。(高齢者向け返済特例制度)

住宅金融支援機構 電話 0570-0860-35

緊急時の連絡先 ～いざ、というときの連絡先～

事件・事故	110番
火災・救急	119番
災害時用伝言ダイヤル	171番
下市町役場	0747-52-0001
下市町上下水道課	0747-52-5540

安否情報の確認 ～災害時用伝言ダイヤル171の使い方～

災害時伝言ダイヤルは、被災地への通信が増加してつながりにくくなった時に提供されるNTTのサービスです。サービスの開始は、テレビ・ラジオ等でお知らせがあります。

伝言の録音	<p>171 → 1 → 被災した家の電話番号 → 伝言を入れる (30秒以内)</p> <p>ガイダンス (説明) 被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市街局番からブッシュする。</p>	伝言の再生	<p>171 → 2 → 被災した家の電話番号 → 伝言を聞く</p> <p>ガイダンス (説明) 被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市街局番からブッシュする。</p>
-------	--	-------	---

※毎月1日、正月三が日、防災週間、防災ボランティア週間には、体験利用ができます。使い方を確認しておきましょう。

わが家の防災メモ ～家族の連絡先等をメモしておきましょう!～

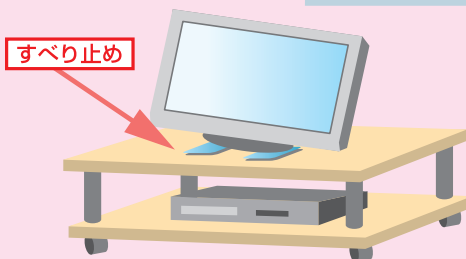
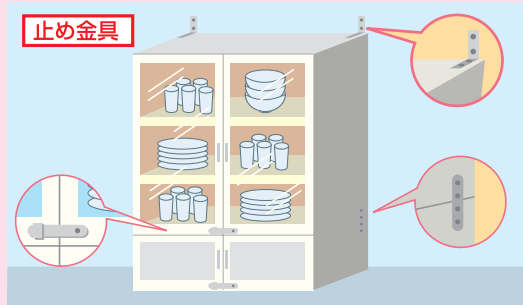
	名 前	電話 (会社・学校・携帯)	メ モ
家族、知人、 親戚などの 連絡先			

メモ欄 (その他連絡事項、避難所への行き方などを記入しておきましょう)

被害を防ぐポイント ～家の中や周囲の安全対策を心がけましょう!～

家の中の安全確認

- 戸建住宅などの場合はできるだけ1階で寝ることは避けましょう。
- 棚やタンスなどの家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- 部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
- テレビや置物などには、すべり止めを取り付けましょう。



家の周囲の安全確認

●ベランダ

植木鉢などの整理整頓をしておきましょう。

●ブロック塀

ブロック塀はしっかり点検補強をしておきましょう。

●屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

●窓ガラス

飛散防止フィルムを貼りましょう。

●プロパンガス

ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう。

ブロック塀の安全対策

- ①鉄筋……縦筋と横筋が固定されて入っているか
- ②基礎……しっかりしているか
- ③控え壁……支えの控え壁は設置されているか
- ④高さ……高すぎないか
- ⑤破損……傾きやひび割れ、破損箇所はないか
- ⑥透かしブロック……多くないか

①鉄筋

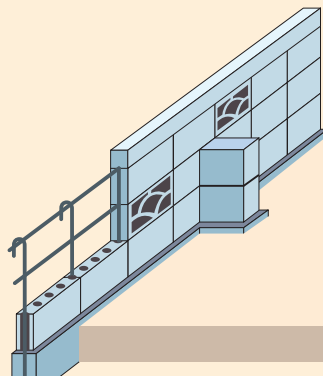
直径9mm以上の鉄筋を縦・横方向に80cm以下の間隔で入れます。特に縦筋は基礎から壁頂まで1本のものでします。

②基礎

30cm以上地盤に埋めこみます。

③控え壁

高さ1.2mを超える塀は、長さ3.4m以下の間隔で控え壁を設置。また、控え壁にも鉄筋を入れ、塀とつなぎます。



④高さ

高さは2.2mを超えないようにします。

⑤破損

補修を行ってください。

⑥透かしブロック

多いと壁の強度が低下します。連続した配置は禁物です。

地震保険について

津波を原因とする火災、損壊、埋没または流失による損害を補償する地震災害専用の保険です。地震保険は、火災保険に付帯する方式での契約となり、火災保険への加入が前提となります。詳しくは、各損害保険会社の相談窓口または代理店にご相談ください。

災害時要援護者への支援 ～地域が一丸となって助け合いましょう!～

高齢者や乳幼児、または障害のある方など、災害時にさまざまな助けを必要とする人たちが、たくさんいます。地域が一丸となって、要援護者を守るための対策をこころがけましょう。

●高齢者や寝たきりの方

- 緊急時は背負って安全な場所に移動する。
- 不安にさせないように声をかける。

●耳が不自由な方

- 話すときは口を大きく動かすようする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝える。

●目が不自由な方

- 災害時には声をかけて情報をしっかりと伝える。
- 誘導する場合は、杖を持ったほうの手には触れず、ひじの辺りを軽く持ってもらい、避難を誘導する。

●車イス利用の方

- 階段を使って移動する場合は、必ず2人以上で行い、上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介護者が1人の場合は、ひもなどを利用して背負って避難する。



自主防災組織 ～自主防災組織を結成し、地域の防災力を高めましょう!～

●大規模な災害が発生したら・・・

大規模な災害が発生した場合、被害を最小限に食い止めるため、行政機関などは、総力をあげて防災活動に取り組めます。しかし、被害の規模が大きいほど、行政機関のみの活動では、十分な応急活動ができない場合が想定されます。

【阪神・淡路大震災では】

阪神・淡路大震災では、倒壊した家の下敷きになったことで、多くの犠牲者が出ましたが、助け出された人の大半が、近所の方々によって救出されました。

●自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域の方々がお互いに協力し、災害から自分たちの地域を守るために結成される組織です。

いざというときには、隣近所の協力、助け合いが非常に大切です。地震に限らず、風水害や火災など、いつ災害が起こるかわかりません。


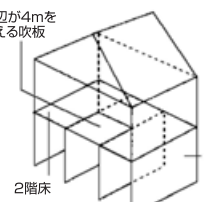
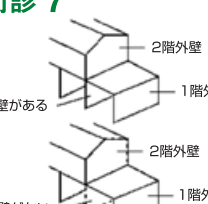
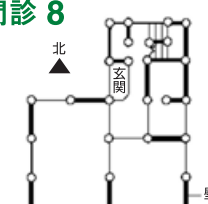
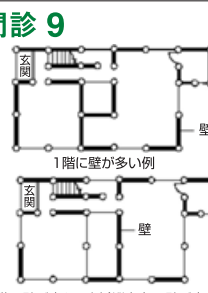
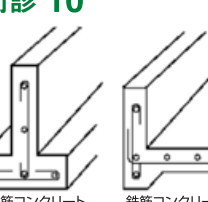
日頃から、ご近所同士のコミュニケーションを深め、互いに協力しながら、防災活動に取り組むことが重要です。



自主防災組織等に関するご相談は、下市町役場総務課までお問い合わせ下さい。

誰でもできるわが家の耐震診断 ～家の安全性を確認しましょう!～

巨大地震の被害から命を守るためには、住宅の耐震性を高めることが必要です。一般の木造住宅(1～2階)は、下の表を使って簡易的に診断が行えます。(出典:(財)日本建築防災協会)

問診	[説明]	項目	評点	参考図
1	建てたのはいつ頃ですか?	●建てたのは1981年6月以降。 ●建てたのは1981年5月以前。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 5 
2	いままでに大きな災害に見舞われたことがありますか?	●大きな災害に見舞われたことがない。 ●床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した。 ●よく分からない。	1 0 0	
3	増築について	●増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。 ●必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 6 一辺が4mをこえる吹板 
4	傷み具合や補修・改修について	●傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。 ●老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 7 
5	建物の平面はどのような形ですか?	●どちらかというとき長方形に近い平面。 ●どちらかというときLの字・Tの字など複雑な平面。 ●よく分からない。	1 0 0	
6	大きな吹抜けがありますか?	●一辺が4m以上の大きな吹抜けはない。 ●一辺が4m以上の大きな吹抜けがある。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 8 北面に壁がない例 
7	1階と2階の壁面が一致しますか?	●2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または、平家建である。 ●2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない。 ●よく分からない。	1 0 0	
8	壁の配置はバランスがとれていますか?	●1階外壁の東西南北どの面にも壁がある。 ●1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 9 1階に壁が多い例 1階に壁が少ない例(縦方向の壁が少ない) 
9	屋根葺材と壁の多さは?	●瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺銅板葺など比較的重い屋根葺材である。 ●和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。 ●よく分からない。	1 0 0	
10	どのような基礎ですか?	●鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎。 ●その他の基礎。 ●よく分からない。	1 0 0	問診 10 

判定	問診1～10の評価を合計します		判定・今後の対策		評点合計
	10点		●ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう		
	8～9点		●専門家に診てもらいましょう		
	7点以下		●心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう		